

2017年12月期 決算説明会

片倉工業株式会社

(コード: 3001 東証第1部)

2018年2月22日

1. 2017年12月期 決算概要

連結損益計算書

連結損益計算書／セグメント別業績

連結貸借対照表

連結キャッシュフロー計算書

設備投資額・減価償却費・研究開発費

2. 2018年12月期 通期業績予想

連結損益計算書／通期予想

連結損益計算書／セグメント別予想

設備投資額・減価償却費・研究開発費予想

3. 中期経営計画「カタクラ2021」進捗状況

4. 株主還元について

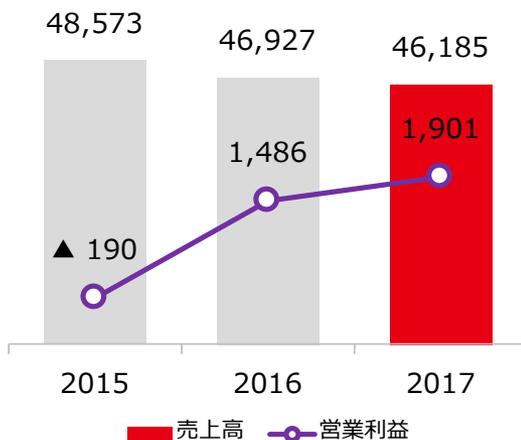
1. 2017年12月期 決算概要

前期比では減収も医薬品の販売管理費の減少等により増益。予想比では減収も各利益段階は増益

(金額単位：百万円)

	2017実績	2016実績	前期増減	前期増減率	2017予想	予想との差異
	A	B	A-B	A/B	C	A-C
売上高	46,185	46,927	▲ 742	98%	47,400	▲ 1,215
営業利益	1,901	1,486	415	128%	1,750	151
営業利益率	4.1%	3.2%	0.9pt	130%	3.7%	0.4pt
経常利益	2,660	2,152	508	124%	2,500	160
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,224	1,691	▲ 467	72%	1,200	24

過去3年間の業績推移



【売上高・営業利益】

- ・機械関連で増収も医薬品で減収
- ・不動産の増益や医薬品の販売管理費の減により増益

【親会社株主に帰属する当期純利益】

- ・前期に投資有価証券の売却益(12億円)があったため減益

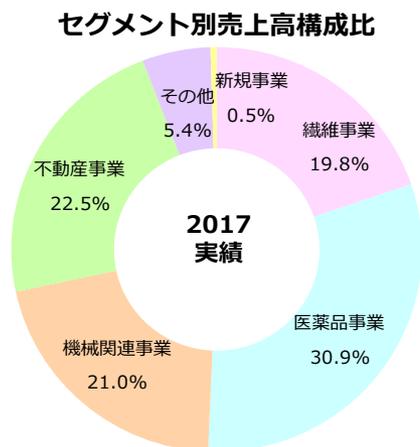
【売上高・営業利益】

- ・機械関連・医薬品・繊維で減収
- ・機械関連で減益も医薬品の販売管理費の減により増益

連結損益計算書／セグメント別実績

(金額単位：百万円)

	2017実績		2016実績		前期増減		2017予想		予想との差異	
	A		B		A-B		C		A-C	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
繊維事業	9,132	▲ 135	9,635	▲ 250	▲ 503	115	9,400	▲ 100	▲ 268	▲ 35
医薬品事業	14,271	581	15,065	199	② ▲ 794	382	14,700	300	① ▲ 429	281
機械関連事業	9,689	▲ 168	9,412	88	④ 277	▲ 256	10,300	50	③ ▲ 611	▲ 218
不動産事業	10,380	3,575	10,188	3,176	① 192	399	10,300	3,400	② 80	175
その他	2,486	▲ 41	2,502	▲ 27	▲ 16	▲ 14	2,500	0	▲ 14	▲ 41
新規事業	226	▲ 343	124	▲ 484	102	141	200	▲ 300	26	▲ 43
調整額	-	▲ 1,566	-	▲ 1,216	-	③ ▲ 350	-	▲ 1,600	-	34
合計	46,185	1,901	46,927	1,486	▲ 742	415	47,400	1,750	▲ 1,215	151



①：不動産で増収増益

- ・コクーン1リニューアル効果もあり増収
- ・減価償却費の減少等により利益率も上昇

②：医薬品で減収も増益

- ・主力のフランドルテープを中心に長期収載品の減少により減収
- ・研究開発費、減価償却費等の減少で増益

③：調整額で減益

- ・退職給付費用の増加による

④：機械関連で増収も減益

- ・一般消防車の受注増も外注費等の増加により利益率が低下
- ・高粗利の大容量送水ポンプ車が減収

①：医薬品で減収も増益

- ・一部翌期への期ズレで減収
- ・研究開発費等の減少もあり増益

②：不動産で増益

- ・修繕費等の減少もあり増益

③：機械関連で減収減益

- ・高粗利の大容量送水ポンプ車の受注減を主に減収・減益

連結貸借対照表

(金額単位：百万円)

	2017.12	2016.12	前期増減
	A	B	A-B
流動資産	54,793	54,228	565
固定資産	89,780	90,430	▲ 650
有形固定資産	50,284	51,509	▲ 1,225
無形固定資産	1,019	1,350	▲ 331
投資その他の資産	38,476	37,570	906
投資有価証券	35,315	34,635	680
資産合計	144,573	144,659	▲ 86
負債合計	63,673	65,752	▲ 2,079
借入金	19,418	19,649	▲ 231
預り敷金保証金	9,809	9,810	▲ 1
繰延税金負債	10,700	10,294	406
純資産合計	80,899	78,906	1,993
その他有価証券評価差額金	17,317	16,349	968
非支配株主持分	23,081	23,337	▲ 256
負債・純資産合計	144,573	144,659	▲ 86

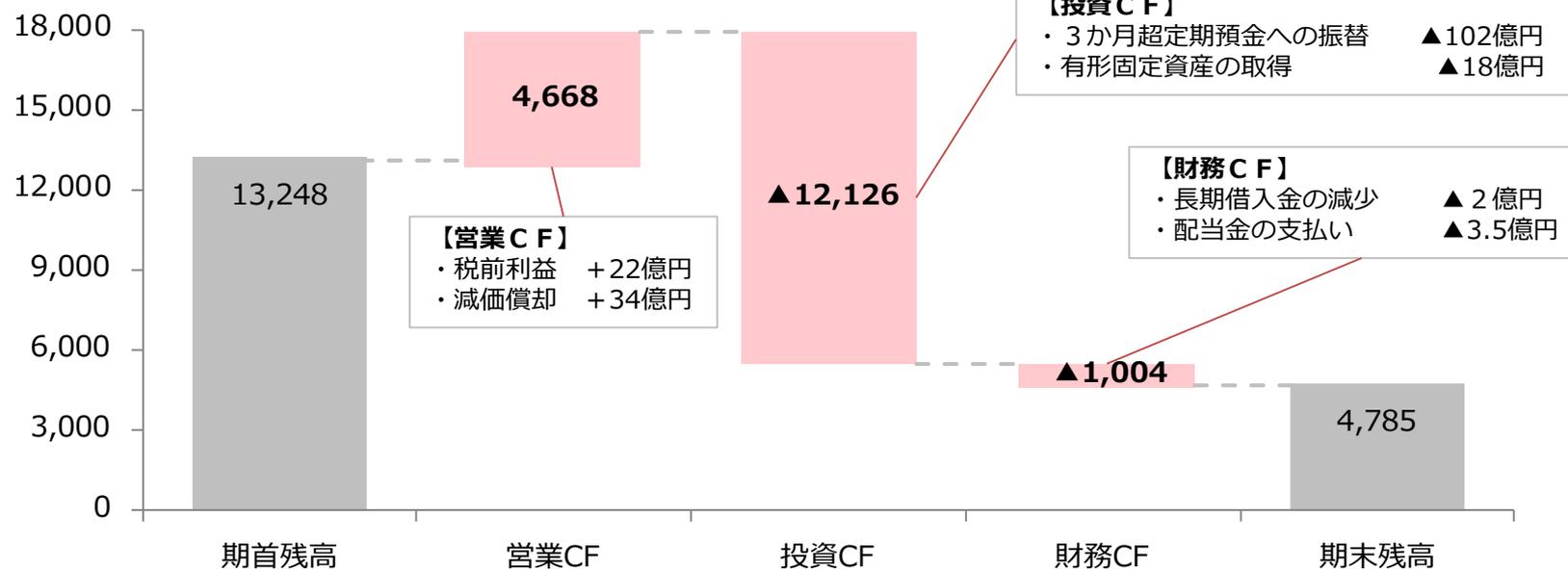
・減価償却による減

・投資有価証券の時価評価差額

(金額単位：百万円)

	2017実績	2016実績
現金及び現金同等物の期首残高	13,248	9,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,668	6,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 12,126	2,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,004	▲ 4,450
現金及び現金同等物の増減額	▲ 8,462	3,991
現金及び現金同等物の期末残高	4,785	13,248

キャッシュ・フローの状況



設備投資額・減価償却費・研究開発費

(金額単位：百万円)

	2017実績	2016実績	前期増減
	A	B	A-B
不動産事業	839	1,048	▲ 209
その他のセグメント	1,238	2,087	① ▲ 849
設備投資額	2,077	3,135	▲ 1,058

①：医薬品事業で前期に「シベノール」の製造販売権の承継があったこと等による

不動産事業	1,896	2,086	▲ 190
医薬品事業	1,054	1,345	▲ 291
その他のセグメント	485	682	▲ 197
減価償却費	3,435	4,113	▲ 678

医薬品事業	1,809	2,285	② ▲ 476
その他のセグメント	356	282	74
研究開発費	2,165	2,567	▲ 402

②：ピソノテープの臨床試験（慢性心房細動の適応追加）が終了したことが主因

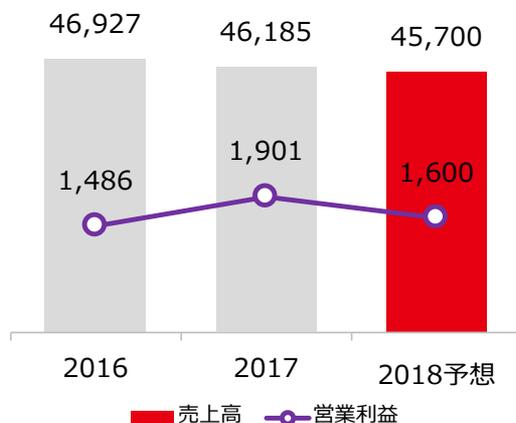
2. 2018年12月期 通期業績予想

構造改革の2年目にあたり、減収・減益を見込む。一部連結子会社で4月末の事業撤退を決定。

(金額単位：百万円)

	2018予想	2017実績	前期増減	前期増減率
	A	B	A-B	A/B
売上高	45,700	46,185	▲ 485	98.9%
営業利益	1,600	1,901	▲ 301	84.2%
営業利益率	3.5%	4.1%	▲ 0.6pt	85.1%
経常利益	2,400	2,660	▲ 260	90.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,000	1,224	▲ 224	81.7%

過去3年間の業績推移



【売上高・営業利益】

- ・繊維で大幅に減収
- ・医薬品の薬価改定の影響が大きく全体でも減益

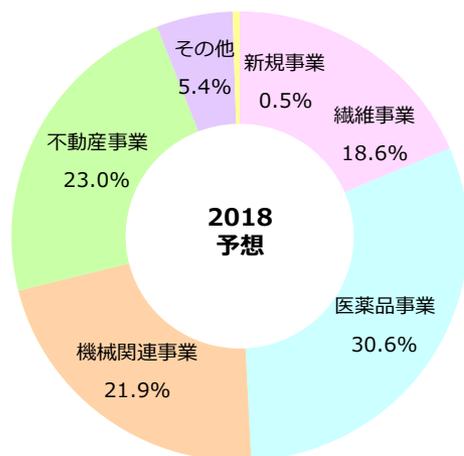
【親会社株主に帰属する当期純利益】

- ・繊維の連結子会社で4月末の事業撤退を決定、8月をもって解散予定。在庫処分等の特別損失60百万円を見込む

(金額単位：百万円)

	2018予想		2017実績		前期増減	
	A		B		A-B	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
繊維事業	8,500	▲ 100	9,132	▲ 135	② ▲ 632	35
医薬品事業	14,000	50	14,271	581	① ▲ 271	▲ 531
機械関連事業	10,000	▲ 100	9,689	▲ 168	311	68
不動産事業	10,500	3,600	10,380	3,575	120	25
その他	2,450	50	2,486	▲ 41	▲ 36	91
新規事業	250	▲ 350	226	▲ 343	24	▲ 7
調整額	-	▲ 1,550	-	▲ 1,566	-	16
合計	45,700	1,600	46,185	1,901	▲ 485	▲ 301

セグメント別売上高構成比


①：医薬品で減収減益

- ・薬価改定によるフランドルテープ等の長期収載品の落ち込みにより大幅に減収減益
- ・一方、ビソノテープの伸長や後発品 3 品目の発売で売上増

②：繊維で大幅に減収も改善

- ・連結子会社の事業撤退により 3 億円減収を見込む
- ・低採算商品を絞り込み、利益改善を見込む

設備投資額・減価償却費・研究開発費予想

(金額単位：百万円)

		2018予想	2017実績	前期増減
		A	B	A-B
	不動産事業	800	839	▲ 39
	その他のセグメント	1,410	1,238	172
設備投資額		2,210	2,077	133

	不動産事業	1,850	1,896	▲ 46
	医薬品事業	1,050	1,054	▲ 4
	その他のセグメント	500	485	15
減価償却費		3,400	3,435	▲ 35

	医薬品事業	1,900	1,809	91
	その他のセグメント	410	356	54
研究開発費		2,310	2,165	145

3. 中期経営計画「カタクラ2021」進捗状況

(1) 基本戦略・進捗状況

◆ 業績の推移

カタクラ2021

売上高

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2018	2021
	実績	実績	予想	中計
繊維事業	9,635	9,132	8,500	11,500
医薬品事業	15,065	14,271	14,000	15,200
機械関連事業	9,412	9,689	10,000	13,000
不動産事業	10,188	10,380	10,500	10,800
その他	2,502	2,486	2,450	4,100
新規事業	124	226	250	2,000
	46,927	46,185	45,700	56,600

営業利益

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2018	2021
	実績	実績	予想	中計
繊維事業	▲ 250	▲ 135	▲ 100	500
医薬品事業	199	581	50	1,200
機械関連事業	88	▲ 168	▲ 100	400
不動産事業	3,176	3,575	3,600	4,000
その他	▲ 27	▲ 41	50	200
新規事業	▲ 484	▲ 343	▲ 350	100
調整額	▲ 1,216	▲ 1,566	▲ 1,550	▲ 1,200
	1,486	1,901	1,600	5,200

◆ 基本戦略

成長事業への転換

- 多様化する顧客ニーズに対応し、特定領域でのNo.1を目指す
- 既存事業のビジネスモデルを見直し、成長事業へシフトすることで、収益基盤を強化する
- 新興国市場の開拓を推進する

新規事業の創出

- 多角化した事業のシナジーを効かせ、新規事業を創出する
- 人々の潜在ニーズに応え、独創的な製品やサービスを提供することで、成長事業を創出する
- 長期的な展望のもとでカタクラグループの新たな柱となる事業を創出する

取り組みの状況

- **2018年度中を目途に構造改革を完了**させ、継続的な成長が見込めるビジネスモデルへの転換を進める
- **不採算ビジネスの縮小や一部事業の撤退**等により、保有する経営資源を成長事業へ振り向ける
- 更なる事業領域拡大のため、**業務提携やM&A等を活用**して目標の早期実現を図る

(2) セグメント別進捗 繊維事業

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2018	2021 中計
	実績	実績	予想	
売上高	9,635	9,132	8,500	11,500
実用衣料	7,831	7,198	6,500	9,500
機能性繊維	1,804	1,934	2,000	2,000
営業利益	▲ 250	▲ 135	▲ 100	500
営業利益率	-	-	-	4.3%



Katakura Silk®
Since 1873



ケアコットン

<実用衣料>

◆ 進捗状況と今後の取り組み

- 低採算商品の絞り込みや販売ルートの見直し
- 物流・生産体制の改善によるコスト削減や収益向上
- 新ブランド「Katakura Silk」など天然繊維の特徴を活かした商品ラインナップ拡充により市場開拓を図る

◆ 補整下着事業から撤退を決定

- 成長事業への転換が困難であると判断し、4月末で撤退、8月清算予定
- 売上高は3億円減収、在庫処分等の特別損失で60百万円を見込む

<機能性繊維>

◆ 進捗状況と今後の取り組み

- 耐熱性繊維は堅調に推移
- 新たな高機能素材の開発と耐熱性繊維の用途開発を進める



ニチビアルフ®

(2) セグメント別進捗 医薬品事業

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2018	2021 中計
	実績	実績	予想	
売上高	15,065	14,271	14,000	15,200
営業利益	199	581	50	1,200
営業利益率	1.3%	4.1%	0.4%	7.9%
研究開発費	2,285	1,809	1,900	10,000

(5年間)



高血圧治療剤「ビソノテープ」
(2013年9月発売)

◆ 進捗状況と今後の取り組み

- 「ビソノテープ」の適応追加と改良製剤の上市（2018年3月承認申請、2019年上市予定）
- 新薬の研究開発においては他社との共同開発に取り組む等、一層の効率化に努める
- 希望退職の実施（2017年2月）により特別損失2億円を計上

◆ 後発品の製造販売承認取得（本年2月15日）

- 主力の循環器領域で2成分3品目
 - ① アミオダロン塩酸塩静注150mg「TE」
 - ② トラセミドOD錠4mg「TE」
 - ③ トラセミドOD錠8mg「TE」

◆ 腎・透析領域への新規参入

- アステラス製薬が製造販売する「キックリン」の共同販促契約（2017年10月）により、販売提携強化



キックリンカプセル
250mg



キックリン顆粒
86.2%

(慢性腎臓病患者における高リン血症治療剤)

(2) セグメント別進捗 機械関連事業

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2018	2021
	実績	実績	予想	中計
売上高	9,412	9,689	10,000	13,000
営業利益	88	▲ 168	▲ 100	400
営業利益率	0.9%	-	-	3.1%

◆ 進捗状況と今後の取り組み

- 消防自動車の部品の標準化や設計工程の改善等の原価低減に努め、安定した収益構造への転換を図る
- 他社との業務提携等による業容拡大や生産能力の向上
- 日本ドライケミカル(株)とメンテナンス新会社を共同設立（2017年4月）

◆ Vowcan 消防ポンプとしての認定取得

- 2015年3月に新製品として開発
- 2018年3月を目途に消防用途として認定を取得し、防災関連分野への進出を図る



大容量水中ポンプシステム
Vowcan (ポーキャン)



◆ 新型はしご車の販売に注力

(2) セグメント別進捗 不動産事業

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2018	2021
	実績	実績	予想	中計
売上高	10,188	10,380	10,500	10,800
営業利益	3,176	3,575	3,600	4,000
営業利益率	31.2%	34.4%	34.3%	37.0%
減価償却費	2,086	1,896	1,850	8,500

(5年間)



「コクーンアスレチックス」
(運営者：(株)BEACH TOWN)

<さいたま新都心まちづくり>

◆ 進捗状況と今後の取り組み

- エリア全体を対象に第三期開発計画を検討中
- コクーンアスレチックス（2017年9月開業）
- 2016年のコクーン1リニューアル効果により堅調推移



コクーン1 2F

◆ コクーン保育園開園（本年4月1日予定）

- コクーンシティ パークサイドビル内に開園予定
- 原則として土日祝日・年末年始を含む365日開園
- 企業主導型保育事業として、従業員・テナント等の提携企業、地域住民の方にもご利用可能



内装イメージ

【施設概要】

- 収益形態：利用料収入（定員30名）
- 運営者：(株)ディアローク

(2) セグメント別進捗 不動産事業

さいたま新都心駅前社有地

社有地全体：147,000㎡（公道等除く）



a.コクーン1 b.コクーン2 c.コクーン3 d.パークサイドビル e.レクサスさいたま新都心 f.フォルクスワーゲンさいたま新都心 g.コクーンアスレックス
h.ガーデンヒルズ迎賓館 i.さいたま新都心 コクーンシティ住宅展示場 j.オフィスビル k.ニチイホーム アイリスガーデン l.デイリーヤマザキ

<既存施設・社有地開発>

◆ 開発済み

- 東京都三鷹市社有地（約2,670㎡）
→ 住宅型有料老人ホーム 全52室（2017年7月開業）



「グランダ井の頭公園」
(運営者：(株)ベネッセスタイルケア)

◆ さいたま新都心以外の社有地開発

- 長野県松本市（約23,140㎡）
→ イオンモール松本開業（2017年9月）後の状況を踏まえた
エリア開発計画の検討



<新規取得開発>

- 新規取得投資：100億円を目標
- 事業領域拡大に向け、商業系・業務系物件を中心に検討

- 福島県いわき市（約29,100㎡）
→ イオンいわき店賃貸中、再開発を検討
- 福島県福島市（約8,700㎡）
→ 土地交換により取得、2019年以降の開発を予定

(2) セグメント別進捗 新規事業

(金額単位：百万円)

	2016	2017	2018	2021 中計
	実績	実績	予想	
売上高	124	226	250	2,000
営業利益	▲ 484	▲ 343	▲ 350	100
営業利益率	-	-	-	5.0%

◆ 進捗状況と今後の取り組み

- 現在取り組んでいる新規事業については、継続的な成長が見込めるビジネスモデルへの転換を進める

<アグリビジネス>

◆ 高付加価値野菜の開発

- 現在展開中の低カリウムレタス、はなびらたけに加え、新たにケール等の開発に取り組み



低カリウムレタス



はなびらたけ
「花華(はなか)」



ケール

<介護福祉機器>

◆ 前広便座「いい安座」

- まちづくり条例に適合したオストメイト*対応トイレの設置ニーズが高まる中、小売店や飲食店等の生活関連施設への拡販
- ウエルシア薬局様で1,500店舗へ導入中
* 人工肛門や人工膀胱（ぼうこう）保有者の方



ウエルシア薬局日本橋1号店
/B.B.ON日本橋店

(3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(金額単位：百万円)

	2017	2018	合計	2017～2021年 計画
	実績	予想		
不動産事業	839	800	1,639	18,000
その他のセグメント	1,238	1,410	2,648	7,000
設備投資額	2,077	2,210	4,287	25,000

不動産事業	1,896	1,850	3,746	8,500
医薬品事業	1,054	1,050	2,104	4,500
その他のセグメント	485	500	985	3,000
減価償却費	3,435	3,400	6,835	16,000

医薬品事業	1,809	1,900	3,709	10,000
その他のセグメント	356	410	766	2,000
研究開発費	2,165	2,310	4,475	12,000

(4) ESGへの取り組み

① 第66回 利根川水系連合・総合水防演習に参加



◆ 全国の自治体とともに水害対策の啓発活動を実施

- 国土交通省及び関東1都6県ならびに開催市町村の主催により、毎年利根川水系の河川で開催
- 大容量水中ポンプシステム「Vowcan」実演演習を実施

② 第8回ピンクリボン・デーinくまがや



◆ 片倉シルク記念館

- 埼玉県熊谷市で開催されたピンクリボン活動において、期間限定で建物をピンク色にライトアップし、乳がん撲滅のメッセージを発信

③ 指名・報酬諮問委員会を設置

- 2017年11月27日設置
- 委員長：前山忠重社外取締役、委員：二島英郎社外取締役及び佐野公哉代表取締役社長の計3名で構成

4. 株主還元について

<利益配分の方針>

当社は、株主の皆様への利益還元を、経営上重要な政策の一つに位置付けております。

利益の配分については、安定配当の実施を基本とし、業績や今後の事業展開、内部留保の水準等を総合的に勘案のうえ、配当を行うこととしております。

<配当金と純利益の推移>



➤ 2007年度

- 8→10円へ増配

➤ 2017年度

- 1株につき2円増配の12円の期末配当を実施予定。

➤ 2018年度

- 安定配当の実施を基本として、1株につき12円の配当を予定。

純利益 (百万円)	701	1,001	268	226	1,691	1,224	1,000
1株当たり当期純利益 (円)	19.95	28.50	7.62	6.44	48.11	34.83	28.45
配当性向 (%)	50.1%	35.1%	131.2%	155.2%	20.8%	34.5%	42.2%

《参考資料①》カタクラグループの多角化起源

創業 1873年（明治6年）
 設立 1920年（大正9年）

カイト
 垣外製糸場



生糸



富岡製糸場の保有
 1939～2005年
 （66年間）



生糸製造

生糸製造の伝統を受け継ぐ

繊維事業

衣料品事業部

肌着、靴下の製造・販売

オグランジャパン(株)

カジュアルインナーの製造・販売

カフラス(株)

補整下着の製造・販売

(株)ニチビ

水溶性繊維、耐熱性繊維の製造・販売



蚕糸関連研究

優良蚕品種研究を活かす

医薬品事業

トーアエイヨー(株)

医療用医薬品の製造・販売

その他

生物科学研究所

訪花昆虫の販売等



繰糸機製造

自社開発の製造ノウハウを活かす

機械関連事業

機械電子事業部

自動車部品の製造・販売
 石油製品等の輸入販売

日本機械工業(株)

消防自動車の製造・販売

片倉機器工業(株)

農業用機械の製造・販売



製糸工場

跡地を有効利用する

不動産事業

商業施設事業部

ショッピングセンターの運営
 不動産賃貸

不動産開発部

社有地の開発・活用

その他

小売事業部

小売業の運営

(株)片倉キャロンサービス

ビル管理サービス

《参考資料②》カタクラグループの事業構成

繊維事業

Katakura Silk



衣料品事業部

介護肌着



オグランジャパン(株)

ライセンス製品



補整下着



カフラス(株)

アルミナ長繊維
(耐熱性繊維)



(株)ニチビ

消防自動車



医薬品事業



トーアエイヨー(株)

機械関連事業

三岐弁



機械電子事業部

振動ハブリング
洗浄器



二輪管理機



片倉機器工業(株)

はしご車



日本機械工業(株)

不動産事業

東京スクエアガーデン



商業施設事業部

コクーンシティ



不動産開発部

その他

ニューライフ
カタクラ



小売事業部

マルベリー
ガーデン



交配専用みつばち商品



生物科学研究所

ビルの清掃等



(株)片倉キャロンサービス

<ご案内>

本資料中の業績見通し等についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。その実現・達成を保証または約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に含まれる情報の掲載にあたりましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

<お問い合わせ先>

片倉工業株式会社

住所：〒104-8312 東京都中央区明石町6番4号

企画部 広報・IR室 室長 森 英明 / 菊地 信行

Tel : 03-6832-0223

Fax : 03-6832-0282

世界遺産登録「富岡製糸場」



特集WEBページ「片倉工業と富岡製糸場が歩んだ歴史」

<http://www.katakura.co.jp/tomioka.htm>